

公表用

令和 5 年度
企業版ふるさと納税
実績報告書



令和 5 年度企業版ふるさと納税の実績について

令和 5 年度は、企業版ふるさと納税を活用し、企業の皆様から 285,495 千円の寄附(物品寄贈含む)をいただきました。

地域課題 地域特性を活かした産業・経済の活性化

1 地域イノベーション拠点整備事業

(1)	寄 附 企 業	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットイヤーグループ株式会社 様 ・テクマトリックス株式会社 様 ・株式会社エヌ・ティ・ティ・データ四国 様 ・レフォルモ株式会社 様 ・株式会社ユー・エス・イー 様 ・株式会社パイジェント 様 ・株式会社 JSOL 様
(2)	寄 附 額	総額 36,600 千円
(3)	寄 附 年 月 日	令和 5 年 7 月 14 日 他
(4)	寄 附 対 象 事 業 の 概 要	廃校となった旧石応小学校を企業誘致が可能な地域イノベーション拠点施設としてリノベーションし、地方創生に関心の高い都市部の企業と地元企業との共創推進と、新たな地域住民のコミュニティ創出による地域活性化を図る事業に取り組みました。
(5)	事 業 期 間	令和 5 年度
(6)	総 事 業 費	36,600 千円



地域課題 若年者を中心とした人口流出と少子高齢化の進行

2 青少年市民協働センター(ホリバタ)事業

(1)	寄附企業	ニッケイグローバル株式会社 様
(2)	寄附額	600千円
(3)	寄附年月日	令和5年6月2日
(4)	寄附対象事業の概要	「青少年市民協働センター(ホリバタ)」において、青少年のチャレンジを応援し、活動人口を育む「人づくり」事業に取り組みました。
(5)	事業期間	令和5年度
(6)	事業費	5,828千円

地域課題 持続可能なまちづくりの推進

3 ブルーゾーンうわじまの実現

(1)	寄附企業	タウンドクター株式会社 様
(2)	寄附額	100千円
(3)	寄附年月日	令和5年10月31日
(4)	寄附対象事業の概要	市民が生き活きと暮らしつつ健康長寿のまちづくりを宇和島市で目指そうとするブルーゾーンうわじま事業に取り組みました。
(5)	事業期間	令和5年度
(6)	事業費	7,740千円

地域課題 頻発化、激甚化する豪雨災害などに対する備え

4 安全・安心を確保した持続可能なまちづくり

(1)	寄附企業	株式会社大塚商会 様
(2)	寄附額(物納)	非公表
(3)	寄附年月日	令和5年12月28日
(4)	寄附対象事業の概要	愛媛・高知の12市町村、株式会社大塚商会様において令和5年8月14日に締結した「災害時における相互応援及び支援協力に関する連携協定」に基づき、企業版ふるさと納税を活用された防災資機材等の物納寄附をいただきました。
(5)	事業期間	令和5年度
(6)	事業費	—



地域課題 地域特性を活かした産業・経済の活性化

5 新たな特産品づくり

(1)	寄附企業	株式会社源吉兆庵様
(2)	寄附額	20,000千円
(3)	寄附年月日	令和6年1月23日
(4)	寄附対象事業の概要	基幹産業である農林水産業における生産者の高齢化、担い手不足といった課題に対し、新たな特産品の生産に取り組む農業者を支援するプロジェクトに取り組みました。
(5)	事業期間	令和5年度～(次年度以降:基金へ積立)
(6)	事業費	20,000千円



地域課題 持続可能なまちづくりの推進

6 市民と地域の力を強化した持続可能なまちづくり(地域共生社会の実現)

(1)	寄附企業	株式会社ムトウ様
(2)	寄附額(物納)	非公表
(3)	寄附年月日	令和6年3月15日
(4)	寄附対象事業の概要	市民と地域の力を強化した持続可能なまちづくりの推進による取り組みのツールとして企業版ふるさと納税を活用された骨伝導集音器の物納寄附をいただきました。
(5)	事業期間	令和5年度
(6)	事業費	—

地域課題 若年者を中心とした人口流出と少子高齢化の進行

7 移住・定住促進事業

(1)	寄附企業	株式会社シンコウ電気商会様
(2)	寄附額	10,000千円
(3)	寄附年月日	令和6年4月19日(出納整理期間)
(4)	寄附対象事業の概要	市内外の多くの方々から「選ばれるまち」となることを目指し、重要課題である人口減少対策として、「移住者等の住宅取得に係る支援」などを実施し、更なる移住・定住の促進を図る。
(5)	事業期間	令和5年度
(6)	事業費	27,770千円

地域課題 地域特性を活かした産業・経済の活性化

8 水産業の産業力強化事業

非公表の寄附企業:有

・ 寄附対象事業の概要:

漁業従事者の高齢化や担い手不足による産業の衰退を防ぐため、移住・就業支援による担い手確保や優良アコヤガイ系統の確立による真珠産業の活性化事業に取り組みました。

・ 事業期間:令和 5 年度



令和 5 年度寄附活用事業



地域課題 地域特性を活かした産業・経済の活性化

【総合戦略】 宇和島製品の販路拡大によるシティセールスの推進

● 宇和島製品の販路拡大や各種フェア実施事業(市長公室・商工観光課)

事業費 **5,956** 千円

都市部への地場製品の販路開拓支援や、都市部の企業・団体等と連携した販売促進活動を行うとともに、国内姉妹都市との連携を通じて、地域情報の発信等による宇和島市への観光誘客を展開することにより、地域特性を活かした産業・経済の活性化と雇用の創出を図りました。

01 姉妹都市との連携

内容

姉妹都市間における経済交流の促進



姉妹都市での PR 活動



東北ビジネスマッチ
(大規模商談会)への出展

内容

姉妹都市等における観光プロモーション活動

営業先

- ▶ 姉妹都市：仙台市・千曲市・大崎市・当別町
- ▶ 旅行代理店：東京都内、仙台市内、札幌市内、長野市内



姉妹都市等エージェントセールス

旅行ツアー造成 **10** 件

02 都市部による 販路開拓強化

内容

首都圏での販売促進活動と販路開拓支援



首都圏での PR 活動



販路開拓支援

担当者の声

今回、企業版ふるさと納税を活用した事業を展開することで、地元企業の販路開拓支援をはじめ、首都圏や東北地方での情報発信機会の創出や強化、国内姉妹都市との経済交流の促進につながっており、今後も継続的に取り組んでいきたいと考えております。

●柑橘農業担い手育成事業(農林課)

事業費 19,000 千円(繰越含む)

令和6年4月開校のJAえひめ南みかん学校(柑橘栽培技術等研修施設)に必要な研修教材の導入支援や受入施設の改修を行い、柑橘農業の担い手の確保及び育成にかかる環境整備を図った。

01

柑橘農業 担い手育成

- ▶ 新規就農者向け育成カリキュラムに必要な研修教材等の導入支援(タブレットPC、専門教材制作等)
- ▶ 新規就農者確保に向けた情報発信(農業情報サイトへの情報掲載等)



JA えひめ南みかん学校 研修施設



研修生のみなさん



実習園地

02

受入施設 環境整備

- ▶ 新規就農候補者受入施設(みなみかぜ)の環境整備(洗面台、シャワールーム等の改修)



台所



洗面台



ガス給湯器増設

担当者の声

企業版ふるさと納税を活用し研修施設に必要な教材等の導入を支援することで、研修環境のさらなる充実が図られ、また、柑橘農家の担い手確保・育成施策に対する大きな後押しとなりました。

【総合戦略】 地域特性を活かした産業・経済の活性化と雇用の場の創出

●地域イノベーション拠点整備事業(企画課)

事業費 36,600 千円

廃校となった石応(こくぼ)小学校を企業誘致が可能な地域イノベーション拠点施設としてリノベーションし、地方創生に関心の高い都市部の企業と地元企業との共創推進と、新たな地域住民のコミュニティ創出による地域活性化と雇用の創出を図りました。



01

廃校モール
プロジェクト

【改修前】



【改修後】



玄関

廊下

職員室

担当者の声

長年使用されていなかった廃校をリノベーションし、地域の新たな拠点として各種事業を実施することで、新しい雇用も創出され、地域活性化に繋がっていると感じています。また、都市部の企業による施設利用やワーケーションでの施設訪問などにより、都市部の企業との新しい共創が生まれています。

●青少年市民協働センター(ホリバタ)事業(生涯学習課)

事業費 5,828 千円

青少年市民協働センター(ホリバタ)で、青少年のチャレンジを応援し、活動人口を育む「人づくり」に取り組みました。

01

活動拠点としての 居場所づくり

家でも、学校や職場でもないサードプレイスとして、主に中高生を中心としたユースが日常でヨリミチできる居場所・活動拠点を運営しました。



▶おしゃべりや勉強、休憩や飲食、テーブルゲームや卓球などのアクティビティーも楽しめる賑やかなラウンジと、静かに勉強などができる自習室など、一人ひとりのスタイルに合わせて、利用されています。

02

キャリア教育の視点 でのイベント実施

興味関心を広げたり、将来の選択肢を増やすなど、若者の世界を広げるため、多様な分野に触れる・地域や社会を知る・多様な人と接するイベント等を実施しました。



- ▶ ゲストの人生や仕事などキャリアについて何うトークセッション
- ▶ 中高生と大学生と一緒にワークショップやフィールドワークを行い、社会参画や地域探究をするプロジェクト
- ▶ デザインやコピーライティングなどを学び発想をカタチにするチカラを養うクリエイティブカリキュラム
- ▶ 多様な分野や最先端の研究を知ることができるオンライン講座

担当者の声

青少年市民協働センター(ホリバタ)事業への企業版ふるさと納税のご寄附ありがとうございました。利用者からは、「ホリバタのおかげで、自分の中の進路の選択肢が増えました」など、嬉しい声をいただいております。今後も、宇和島を担う多くの若者に寄り添った事業を継続的に取り組んでいきたいと考えております。

地域課題 持続可能なまちづくりの推進



【総合戦略】 市民と地域の力を強化した、持続可能なまちづくり

●ブルーゾーンうわじまの実現(高齢者福祉課)

事業費 **7,740** 千円

01 ブルーゾーン うわじまの実現

市民が生き活きと暮らしつつ健康長寿のまちづくりを宇和島市で目指そうとするブルーゾーンうわじま事業に取り組みました。

内容

心疾患での死亡率が全国上位である愛媛県において、宇和島市では疾患の原因である「高血圧」を改善し、市民全体の健康長寿の延伸を図っている。

○血液中のナトリウムとカリウムの比率「ナトカリ比」に着目し、医師と保健師、管理栄養士等がナトカリ比改善のための食事メニューを検討後、市内飲食店や弁当店、配食事業者との連携により販売。

○食事を取りながら市民個別のナトカリ比を経年で評価・検証を行った。今後は、新たな血圧改善メニューとして全国的なPRを展開していく。



01

- ▶ 健診時において尿検査でナトカリ比を測定



02

- ▶ ICT 連携で行政と医療機関がデータを共有
- ▶ 医師、保健師、管理栄養士など多職種によるデータ分析&ナトカリ比メニューの考案



03

- ▶ ナトカリ比を考慮した血圧改善のご当地メニュー地域交流施設等で市民に提供しながらデータ収集を続けその効果を検証。
- ▶ 効果確立後は市内飲食店・配食事業者とのタイアップによる普及開始。
- ▶ 血圧改善メニューを通じた全国的なPR・販路拡大を図る。

担当者の声

医師と管理栄養士等と協働で検討したご当地食材を使った高血圧改善メニューを市民に提供し、データ収集及び効果分析を行っているところです。その効果確立ができれば、ご当地メニューとしてPRしたいと考えております。

【総合戦略】 安全・安心を確保した持続可能なまちづくり



●防災対策事業(危機管理課)

株式会社大塚商会様から、防災資機材の物納寄附をいただきました。

01 防災対策の強化

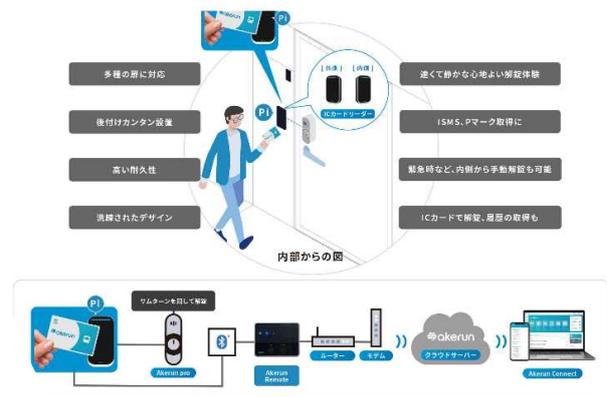
内容

愛媛・高知の12市町村、株式会社大塚商会様において令和5年8月14日に締結した「災害時における相互応援及び支援協力に関する連携協定」に基づき、株式会社大塚商会様から、企業版ふるさと納税を活用された防災資機材等の物納寄附をいただきました。

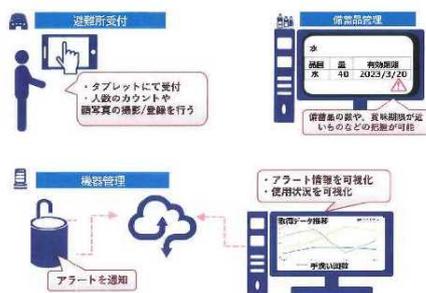
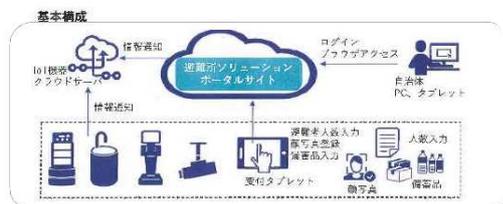
▶寄贈物品の一部



WOTABOX



Akerun 入退室管理システム



避難所プラットフォーム

担当者の声

今回の寄贈は、近い将来発生するとされる南海トラフ巨大地震をはじめとした災害に、どう備えていくのかという大きな課題を抱えている当地域にとって、発災時に大きな力になると確信しております。今後も連携協定に基づき、関係自治体連携のもと、さらなる防災・減災対策の強化に取り組んでまいりたいと考えております。

●新たな特産品づくり(推進)事業(農林課)

特産品づくり推進事業費補助金

事業費 75 千円

新たな特産品の生産(柿等)に必要な苗木の購入費用や育成期間における栽培管理費用を助成し、農林業の産業力強化を図りました。

01

新たな特産品づくり



苗木(柿)



植栽

支援対象(内容)

新たな特産品の生産体制の整備

- ▶ 苗木の購入
- ▶ 未収益期間支援

(苗木の購入費、未収益期間における栽培管理経費を支援)

生産基盤等の整備

- ▶ 農地を再生利用する農業者への支援
- ▶ 鳥獣等の被害軽減対策
- ▶ 実証ほ場の設置及び管理

(荒廃園地を再生するための経費などを支援)

令和5年度の支援対象(内容)

新たな特産品:伊達柿

- ▶ 苗木の購入:40本
- ▶ 未収益期間支援:1件



担当者の声

今回、企業版ふるさと納税を活用した事業を展開することで、当地域で従来から生産されてきた特産品の柑橘に加え、新たな特産品の産地形成を推進していく機運の醸成や、意欲ある農業者の農地再生利用、また新規参入者確保の機会の増加にもつながっており、今後も継続的に取り組んでいきたいと考えております。

地域課題 持続可能なまちづくりの推進

【総合戦略】 市民と地域の力を強化した持続可能なまちづくり

●地域共生社会の実現(市民課他)

株式会社ムトウ様から、骨伝導集音器の物納寄附をいただきました。

01 地域共生社会 の実現

特徴

- ▶ 10万回/秒以上の超微細振動、従来の骨伝導の100以上の音声情報を持っている。
- ▶ 鼓膜を超えて、耳の奥に直接音を届ける。
- ▶ 音を大きくするのではなく、クリアにすることで聞こえやすくする。

設置場所

- ▶ 窓口、福祉施設、病院局



骨伝導集音器

WeCLEAR(Voice):11台

担当者の声

ご寄附いただいた骨伝導集音器は、主に市民課などの窓口で活用させていただいており、行政サービスの向上につながっています。

●移住・定住促進事業(企画課)

住宅取得支援事業補助金

事業費 27,770 千円

人口減少対策として、「移住者や子育て世帯の住宅取得に係る支援」を実施し、更なる移住・定住の促進を図りました。

01

移住・定住に向けた取組

対象

- ▶ 移住世帯…令和4年3月1日以降に、市外から転入した者を含む世帯(単身者も含む)
ただし、転入日以前の1年間において、宇和島市に住所のない方
- ▶ 子育て世帯…申請する年度の4月1日時点において18歳未満の方または4月1日以降に出生した子が含まれる世帯(申請時において出産予定者がいる世帯も含む)

主な支援内容

令和4年4月1日以降において、住宅の新築または中古住宅(市の空き家バンク登録住宅)の購入に要する経費に対し、補助金を交付しました。

- ▶ 補助率…新築または購入にかかった費用の10分の1以内(上限50万円)
- ※世帯主または世帯主の配偶者の親と同居する場合、15万円を加算

給付実績

- ▶ 件数 56件
 - <内訳> ・移住世帯 6件
 - ・子育て世帯 50件

利用者の声

子どもが生まれたことをきっかけに家族で過ごしやすい家に住みたいと思い、家を建てようと決心をしました。

しかし、そのころから物価が上がり始め、想定以上の費用になってしまいました。その中で住宅取得支援事業補助金をいただけたことは、新しい生活をしていく上で非常に助かりました。



【総合戦略】 農林水産業を柱とした地域の産業力強化
魅力の発信による「住みたい・行きたい・帰りたい」の実現

●水産業の産業力強化事業(水産課)

漁業従事者の高齢化や担い手不足による産業の衰退を防ぐため、移住・就業支援による担い手確保や優良アコヤガイ系統の確立による真珠産業の活性化を図りました。

01 漁業就業支援



事業費 990 千円

漁業経営(独立)または、就業(雇用)を目指す研修生(50歳未満)に対し支援金を給付しました。

就業支度金

移住・就業後に支給

→ 今年度研修(雇用型)を開始した2名へ支給

住宅支援金

独立型は最長4年間、雇用型は最長2年間支給

→ 賃貸している1名へ支給

定住支援金

研修開始後1年経過毎に独立型は最長3年間、雇用型は最長2年間支給。

→ 昨年度から継続している研修生1名へ支給

02 優良アコヤガイの作出



事業費 4,025 千円

令和元年夏から続くアコヤガイ稚貝のへい死については、新種のウイルスが原因とされており、その対策が急務です。愛媛県漁協各支所と連携し、へい死耐性を持ち真珠養殖に適した優良アコヤガイの作出を目指すとともに、実証試験中の稚貝専用避難漁場のモニタリング調査を通じて、その効果の検証を行いました。

宇和島市

- ▶ アコヤガイ親貝候補の選定
- ▶ アコヤガイ稚貝専用避難漁場のモニタリング調査



愛媛県漁協各支所

- ▶ 試験アコヤガイ飼育委託
- ▶ 種苗生産委託
- ▶ 漁業者向けに注意喚起を発出



担当者の声

当市の基幹産業である農林水産業においては、従事者の高齢化、後継者不足等が喫緊の課題となっております。今回、企業版ふるさと納税を活用させていただき、水産業の産業力強化事業を展開し、水産業の活性化及び振興を図り、不足する漁業の担い手確保に取り組むことができました。

お問い合わせ先

市長公室 ふるさと納税係

Tel : 0895-49-7088

Mail : furusato@city.uwajima.lg.jp

総務部 市長公室